

東北復興 PSW にゆうす

この4年間は我々にとってどんな日々だったのでしょうか？確かな手ごたえを感じているかたも、未だ不安や辛さを抱えているかたもいると思います。あの時わからなかったこと、あの時行けなかったこと、あの時出来なかったこと…色々な思いがあり、もしかしたら自分を責めているかたもいるのかもしれません。そんな一人ひとりの思いも、私たちの確かな「縁」に繋げていけたら素敵ですね。復興支縁ツアー、福島での全国大会などなど…。いま、確実にその「縁」の機会は増えてきているのではないのでしょうか？（東日本大震災復興支援委員会委員：今泉）

5年目の春を迎えて…

（復興支援活動募金受付終了のお知らせ）



5年目の春が巡ってきました。今なお23万余の人が避難生活を強いられ、福島第一原発事故の収束は危機的で深刻な状況にあることに変わりはありません。しかし被災地や当事者でない多くの人には被害に苦しむ声が徐々に届きにくくなっているように思います。自然災害の脅威を、多くの尊い命が失われたことを、遺された人の哀しみを、そして長く続く生活の困難を、人々は記憶の彼方に追いやろうとしているのかもしれません。私たち精神保健福祉士はいつまでも被災地や被災者の必要があるかぎり、彼らの必要に誠心誠意向き合い、関わり続けることを心に刻みつけたいと思います。

振り返るにはまだ早いという思いの中で、この度一つのご報告をさせていただきます。この4年間に本協会の被災地支援に多くの方のご理解とご協力をいただきました。構成員の皆様をはじめ、構成員以外の方からも募金という形でご支援をいただきました。改めて厚く御礼申し上げます。

その復興支援活動募金の窓口をこの3月末で閉じることになりました。あくまでも会計上の関係から、具体的な事業実施計画に拠らない募金活動は、公益目的事業の実施や税法上などで問題が生じる恐れがあるという指摘を受けたためです。主には東松島や南相馬等の被災地派遣の費用に充当されることを想定してお願いした経緯がありましたが、被災地支援の経費の多くは公的な費用で賄うことができました。そのために皆様の思いのこもった貴重な募金の使途を模索しながら今日に至った次第です。

これまでの募金の使途につきましては協議の結果、「東日本大震災・支援活動記録集」の発刊、復興支縁ツアー開催経費等に充当させていただくことといたしました。なにとぞご理解のほどお願い申し上げます。

本協会は今後も記憶の風化に逆らって、地道で着実な支援活動を継続していきたいと考えています。皆様にはこれからもどのような形であっても被災地や被災地の人々、被災地で働く仲間とつながっていただきますよう、深い感謝の気持ちとともに心からお願い申し上げます。

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 会長 柏木一恵

これまでに皆様からお寄せいただいた募金は東日本大震災復興支援活動助成金交付事業を通じて

下記の事業実施に役立てられました。*事業名(実施主体)概要の順に記載

☆ 災害対策委員会研修事業「支援者支援に学ぶ」

(広島県精神保健福祉士協会)

東日本大震災後、被災地にて支援に携わっている PSW を招き、実際の現状をお話いただき、「支援者支援とは？」を学び、広島の地で出来る後方支援を考える機会とする。

☆ つながりつづける交流会～東京・福島

(一般社団法人東京精神保健福祉士協会)

震災から3年経った福島の現状を学び、また県内で働く精神保健福祉士の実践や課題を理解する。

☆ 東日本大震災に係る活動記録集作成事業

(宮城県精神保健福祉士協会)

宮城県精神保健福祉士協会の会員が行った支援活動等を記録集としてまとめ、会員及び関係機関に送付。

☆ 被災地における精神保健福祉士の地域メンタルケア実践

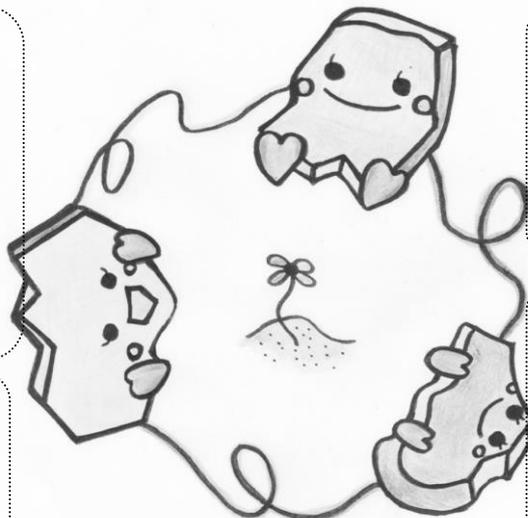
(被災地支援活動を支援する会)

(公社)日本精神保健福祉士協会全国大会自主企画において、被災地におけるメンタル課題を提示し、ワールドカフェ方式を用い参加者でセッションを行う。

☆ 避難事業所への支援活動

(福島県精神保健福祉士会)

2013年4月～2014年3月:就労継続支援B型事業所「コーヒータイム」へ福島県精神保健福祉士協会会員を派遣し、当事者研究方式を用いたグループ・ミーティングや個別相談、および事業所スタッフへの心理的支援などを行う。



☆ 被災地支援研修

(栃木県精神保健福祉士会)

震災以降から現在までの地域の現状と課題、その中でのPSWの役割や思い等について、現地視察とともに講話、意見交換等を行う。

☆ 群馬県内被災者支援事業

(群馬県精神保健福祉士会)

他の支援団体と共同で設立した「ぐんま暮らしの応援会」の支援活動として、毎月開催する“避難者の集い”へ相談員を派遣。

これまでの支援に感謝!これからも
よろしくをお願いします。

☆ 多職種合同研修会事業

(宮城県精神保健福祉士協会)

看護師・作業療法士・精神保健福祉士など各職種からの話題提供(震災当時の体験発表)、グループワーク・意見交換会、講演「精神保健医療福祉を地域で絶やさないために」など。

☆ 「行こう、福島!!」平成25年度神奈川県精神保健福祉士協会宿泊研修 (神奈川県精神保健福祉士協会)

福島県内での震災発生後のこれまでの活動や現在の取り組みについての研修と被災地視察を行う。

今後の予定 3月21～22日 復興支縁ツアーin 宮城

4月25～26日 復興支縁ツアーin 岩手

6月25～27日 (公社)日本精神保健福祉士協会全国大会・

日本精神保健福祉士学会学術集会(福島大会)

【テーマ】共生・創造・未来～はじめよう、ここから!～



福島で待つ
ています

♡～復興支援活動募金報告～♡3,122,975円(2012年5月7日～2015年2月27日現在)

☆皆さんからのメッセージを募集します☆

本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。全国どなたからのメッセージでも構いません。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。本紙へのご意見・ご感想も大歓迎です。本紙面や協会ウェブサイトにてご紹介させていただきます(原則として投稿者氏名以外の個人情報掲載いたしません)。お届け先は復興支援本部の事業を引き継ぐ復興支援委員会へのFAXもしくはE-mailにてお願いいたします。 E-mail:office@japsw.or.jp *題名に「PSWにゆうすについて」とご記入をお願いします。

第15号 2015年3月15日発行

発行:公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援委員会

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL.03-5366-3152 FAX.03-5366-2993

URL: http://www.japsw.or.jp/